

## 被災地の親子に つながるお手伝い

「こみえ☆かな（香川県）」

香川県の伝統工芸に認定をされている「讃岐かがり手まり」の教室が、私たちの子育てひろばのすぐ近くにある。木綿糸を草木染めで色づけて紡いだ手まりは見ただ目もきれいだ。が手触りも良く子どもたちも大好きだ。

震災後しばらくした時、伝統工芸士で手まり教室の先生が、ひろばを尋ねて来られた。

「私の教室の生徒さん達が作った手まりを、被災された親子に届けたいのだけども、どうしていいか分からなくて」と。

「日々の生活にもご苦労をされ心に深い傷を負った被災地の方に、生活に役立つ

わけでもない手まりなんて…と思われるかもしれないが、こんな時だからこそ人の温かみのある手作りの手まりを飾りではなく遊び道具として子ども達が使ってくれば…」と熱い思いも伺った。

これまで被災地の子育てひろば宛に、私たちのひろばを利用して送っているママ達から集まった数々の支援物資を送ってきた。義援金、衣類や生活雑貨、子ども用品の数々。そんなつながりが出来ていた、被災地のひろばに電話をして「素敵な手まりを預かったのだけども…」と言うと、「是非送って来て！」と喜んでくれた。その後、ひろばの利用者に渡すだけではなく避難所にわざわざ足を運び、支援物資とともに配り歩いてくれたようだ。

手まりを届けて数カ月したある日、手まりの先生から、「被災地からこんなメールが届いたの」と連絡があった。

・・・おそらく支援物資であったと思

うのですが、かがり手まりをいただきました。たくさんさんの支援物資の中からこんな素敵なものかと一目ぼれし手にしたのが手まりでした。（中略）手まりと一緒に手紙が入っていて『はじめてかがった手まりです。これから上手になる予定です。これを受け取ったあなたは、これから幸せになる予定です。遠くから見守ります。讃岐かがり手まり保存会』とありました。はじめてかがった手まりはとても思い出に残るものでしょうに、被災地に送って下さるなんて・・・（後略）

手紙を受け取った生徒さんたちも喜んでくれたようだ。先生からは「本当に役立っているのか迷いもありましたが、ほっとしました。手まりを届ける橋渡しをしてくれて感謝しています」と言われました。

『親子と向き合っている』『子育て支援をしている』このキーワードで繋がった四国と東北の子育てのひろば。地域で「親

子へ」と思った時に「このひろばに頼めば、全国の親子につながるかもしれない」と思ってくれたこと。そして実際につながることに出来たこと。今回の経験は自分たちだけではできなかったことを子育てひろばをステーションにして繋げられることができ、それが各地の親子の笑顔につながった事が何よりうれしく思いました。ひろばをやってよかったなあ。



※フォト部門でも選ばれました